

ふれあい！

子育て奮闘記

レポート

その25

富田林の子育て支援

静岡から大阪に嫁ぎ、何も分からない土地で初めての育児に奮闘中の毎日です。今、富田林でどんな子育て支援が実施されているのかをレポートするため、1歳の娘を連れて取材しました。

広報ふれあいレポーター 吉井 絵律子さん(寿町)

「ほっとしませんか？ 「ふらっとスペース金剛」

ごくごく普通の民家を借りて、子育て支援活動による地域づくりをめざして活動しているふらっとスペース金剛。広いお庭や畳の部屋はまるで田舎のおばあちゃんの家に来たような穏やかな気分になります。

今回は、毎週水曜日の午後に行われている講座の中から、「夫と私と子どもの関係」をテーマに助産師の国松 裕子さんがファシリテーターを務める講座に参加しました。

娘をスタッフに預けて、ハーブティーを飲みながら、育児の中で「あるある、そうそう！」などと思ふことや悩みを語り合いました。子どもと向き合っている中で、だれか



に話を聞いてもらい共感してもらえらるということがとても大切なのだと実感しました。あつという間の1時間半でしたが、少し『心のこり』もほぐれました。

また、月々土曜日の午前と午後1時に設けられている「くつろぎタイム」では、自由に子どもを連れて遊びに行くことができ、そのうえゆつくりとお茶とお菓子をいただくことができます。いすに座って、入れてもらったコーヒードリンクを飲む。「何だそんなこと」と思われるかもしれませんが、育児



ふらっとスペース金剛 代表の岡本さん

をしている身にとつてはなんともぜいたくな時間なのです。

ふらっとスペース金剛代表の岡本さんは、「子育てに大切なのは息抜き」と話されていました。スタッフの皆さんも世間話から育児や仕事の悩みなども聞いてくれて、本当にほっと一息つける温かい場所です。また、平日働かれていますがお母さんが、休日に家を掃除している間だけ娘さんを連れてくるお父さんもおられました。

午前の部は10時から午後1時までなので、出前を注文したり、お弁当を持参したりして、みんなで楽しく昼食を取りまします。また、月に2度実施されている「赤ちゃんタイム」は大盛況で、大勢のママとベビーであふれか

えります(1歳・2歳タイムもあります)。
だれかに話を聞いてもらいたいとき、赤ちゃんを連れてお出掛けしてみませんか。コーヒードリンクと笑顔が待っています。利用料は無料で、お茶代が200円、講座などは実費となります。

「図書館」 絵本のある生活を

静かな館内に響き渡る子どもの泣き声。「ああ、ゆつくり本を探したい！」と思つたことはありませんか？

図書館のホームページ上で検索して、図書の予約ができる便利なサービスがあります。貸し出し可能な連絡がきたら、1週間以内にカウンターに受け取りに行けばいいだけ。これは、子ども連れでゆつくり本を選ぶことのできない人にとつてはとてもありがたいサービス。受け取りに行つたついでに、日当たりの良いじゅうたんコーナーで遊んだりするのもいいですね。もちろん授乳室もあります。
「長い目でみて、本を好きな子に育ててほしい」と司書の方は話されていました。まずはもう一度子どもに戻つて、自分の絵本を探しに出掛けてみてはいかがでしょうか。